

MRI造影検査説明書

●ガドリニウム造影剤検査を受けられる方へ

この検査で使用するガドリニウム造影剤は、病気の診断に有効な情報を得るために使われる検査薬で、ガドリニウム造影剤を使用することにより、疾患の有無や内容、種類、状態などのより詳細な情報が得られます。MRI用造影剤を検査中に静脈より注入し、注入中または注入後に検査を開始します。

造影剤は約一日で尿から体の外に排出されます。したがって腎臓の機能が低下している場合、排泄が遅くなるだけでなく腎臓の機能がいっそう低下することがあります。腎機能低下がある場合は慎重な対応が必要です。この薬は安全な薬剤ですが、次のような副作用が発症する可能性があります。

- ・軽い副作用：吐き気、嘔吐、かゆみ、発疹、気分不良などがごくまれに起こります。
- ・重い副作用：じんましん、動悸、めまい、悪心・嘔吐などが1%以下の割合で起こります。

さらに0.01%未満ではありますが急激な血圧低下によるショック、咽頭浮腫などによる呼吸困難が報告されています。

- ・このような症状が検査翌日や数日以内に現れる可能性もあります。

●ガドリニウム造影剤の投与制限について

MRI用造影剤は、一般的に比較的安全な薬剤とされていますが、患者様の安全を最優先とするため、次のような症状・疾患をお持ちの方は、誠に申し訳ございませんが造影剤の使用を伴う検査を制限させていただく場合がございます。

特にアレルギー体質の方は副作用を生じる可能性が約3倍多いといわれ、なかでも気管支喘息の方は約10倍と言われています。副作用を事前に予測することは困難なため、該当する項目がある場合は、必ず事前に医師または検査担当者までお申し出ください。

原則禁忌

- ・重症気管支喘息、重篤な腎障害、重篤な肝障害、妊産婦

当院では次ような疾患をお持ちの方は造影検査をご遠慮いただいております。

- ・重症てんかんの方、一般状態の極度に悪い患者、乳幼児、アレルギー性鼻炎・発疹、じんましんなどアレルギーを起こしやすい体質を有する患者、痙攣発作後など

*医療機関の皆さま過去3か月以内の腎機能を確認の上、造影検査をお申し込みください。

医師記入	クレアチニン値（ mg/dl）	eGFR値（ mg/dl）
------	--------------------	------------------

造影剤の副作用として知られるアレルギー反応は、その多くが検査中や検査直後すぐに起こる「即

時型反応」です。これらは院内で当院スタッフが迅速に対応いたしますのでご安心ください。

しかしながら、非常に稀ではございますが検査を終えてご帰宅された後、数時間から最大3日後までに症状があらわれる「遅発型反応」も報告されています。主な症状としては、広範囲にわたる発疹（ぶつぶつ）やかゆみ、皮膚の赤みなどが挙げられます。これらの症状は検査から時間が経っているため、ご自身では造影剤が原因だと気づきにくい場合がございます。

万が一、ご帰宅後にそのような症状に気づかれた場合は、どんなにささいなことでも構いませんので、速やかに当院までお電話にてご連絡ください。

MRI造影検査問診票・同意書

MRI検査の安全を確保するための大切なご確認です。恐れ入りますが以下の質問にお答えいただけますよう、ご協力をお願いいたします。

① 過去に、造影剤（注射・点滴・経口）を使用した検査を受けたことがありますか？

☐ はい ☐ いいえ

内容

② 造影検査を受けたことがある方で、検査中、帰宅後も含め副作用などはありましたか。

☐ はい ☐ いいえ

内容

③ アレルギー体質やアレルギー性の病気はありますか。

☐ はい ☐ いいえ

体質・疾患

④ 現在、内服しているお薬ありますか。

☐ はい ☐ いいえ

薬品名

⑤ 女性の方への質問です。現在、妊娠中もしくは妊娠の可能性はありますか？

☐ はい ☐ いいえ

*妊娠中または妊娠の可能性がある方には、当院では造影検査をご遠慮いただいております。
*授乳中の方は検査終了後、24時間は授乳をお避け下さい。

⑥ 過去に、喘息にかかったことはありますか。

☐ はい ☐ いいえ

⑦ 過去に、腎臓が悪いといわれたことがありますか。

☐ はい ☐ いいえ

私はMRI造影検査を受けるにあたり、検査の目的や注意事項について説明を受け納得しましたのでMRI造影検査を受けることに同意します。

この同意書は3ヶ月有効です。

記入日 年 月 日

ご署名 代理人（続柄）

共同利用元医療機関

依頼医師署名

当院依頼医師署名